

2021.2.7 中高科奨励

聖化について

若月 学先生

まず、子どもカテキズム問 32、問 33 を確認しましょう。

問 32 救われたあなたはどうなりますか。

答 聖化の歩みを始めます。

問 33 聖化の歩みとは何ですか。

答 神さまの子どもとして、罪に死に、神さまの御子イエスさまのお姿に似せられていくことです。神さまに愛されている喜びのうちに、私たちも神さまを愛して歩みます。

「聖化」、「せい化」という言葉は、イエスさまを知らない人にとっては、意味がありません。イエスさまに似たものとして生きる、変えていただくことを言い表しているからです。イエスさまに似たもの変えられていくのは、私たちに、もちろん、その資格があるからではありません。すべては、神さまからのおおいなる恵みです。神さまからのプレゼントです。

イエスさまが、私たちの罪のために十字架にかかって死んでくださり、三日目に復活されたことを信じる信仰によって、私たちは神の民、神の子とされているのです。先に言ったように、信仰ぬきで、救いも、聖化もありません。ありようがないのです。神さまぬき、信仰ぬき、人の力だけでは、何事も始まりませんし、むなしだけです。

神さまを信じ、神さまの御用にこの貧しい信仰者が、力及ばずながらも、役立ちたい、神さまの喜ばれることがしたい、と私たちが願うことも、神さまからの恵みです。神さまの力が私たちを通して働くのです。

パウロが、「生きているのは、私ではなく、キリストが私の内に生きておられる」と、ガラテヤの信徒への手紙 2：20 で語っています。同じく、「あなたがたは、神に選ばれ、聖なる者とされ愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。……」とコロサイの信徒への手紙 3：12 以降で語っています。

たとえどういふ状況にあっても、私たちの主なる神さまにより頼み、主にある喜びと感謝のうちに歩んでゆきましょう。